



セイヨウバクチノキ ／オット・ライケン

常緑／低木／木本植物／外来種・園芸品種



科名 バラ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

4月ごろに、枝先にブラシ状の花序をつける。在来種のバクチノキは高木だが、セイヨウバクチノキは低木。ひこばえをたくさん伸ばし下枝が密生するので、生垣や目隠しに取り入れやすい。さらに矮性の‘オット・ライケン’は、寄せ植えや刈り込みに利用できる強健な品種。



葉



花芽



花穂



花 (拡大)

Memo

在来のバクチノキは9月に咲く。樹皮が剥がれ落ちる姿を、ばくちに負けて裸になる様子に喩えた。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期				■								
🍒	果実										■		
🍁	紅葉												
🌱	施肥	■	■	■									
✂️	剪定		■	■		■		★★					

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○	○				

ポイント

観賞価値のある花を咲かせる常緑樹。よく目立つ花序は10～12cmほど長く、芳香がある。関東地方以西で配植できるが、‘バクチ’というネーミングのせいあまり使われない。

剪定

萌芽力があり刈り込みに堪える常緑性の低木。このため生垣にも利用される。生垣は5月、7月、10月の年3回剪定すると維持しやすい。

病虫害

病虫害は少ない。